

令和6年度 奈良県国民健康保険直営診療施設運営協議会医療部会研究集会

「紀伊半島ミッション」～東南海大地震における各自治体の備えと覚悟～

紀伊半島の自治体、特に奈良県は山間へき地が多く、度々災害を経験している。下北山村の崩落事故は記憶に新しいところであるが、近いうちに起こると言われている東南海大地震では未曾有の被害が予想されている。大阪、名古屋を含む都会など広範囲に被害が及ぶため、発災後数週間は支援が及ばず、また陸路も閉ざされるため、各々の自治体が備えを行っておかなければならない。

また、日頃から災害に備えた地域づくりを行う必要があり、そのこと自体が過疎化の歯止めにつながると思われる。今回、防災のまちづくりで注目されている三重県紀宝町の森本真之助医師と、過疎化に挑戦する和歌山県北山村の内川宗大医師を迎え、講演とシンポジウムを企画し、明日来るかもしれない大災害と同時に、迫り来る過疎化の波についても、是非紀伊半島のミッションとして考える機会にしたい。

奈良県国民健康保険直営診療施設運営協議会医療部会長 武田以知郎

テーマ 「紀伊半島ミッション」

～東南海大地震における各自治体の備えと覚悟～

日時 令和6年8月31日（土）14:00～16:30

会場 奈良県社会福祉総合センター 6階大ホール
住所：橿原市大久保町320-11 *隣に市営駐車場あり（有料）
対象者 国保関係者（診療所・市町村） 自治体関係者
そのほか医療・介護関係者（一般も可）
参加費 無料
申込み 8月20日（火）まで

プログラム（予定）

13:30 受付

14:00 開会

基調講演 「和歌山県の医療と北山村からのチャレンジ」
和歌山県北山村国民健康保険診療所長 内川 宗大 氏
「南海トラフの孤立対策、令和の築城と地域医療」
三重県紀宝町立相野谷診療所長 森本 真之助 氏

シンポジウム 「紀伊半島ミッション」

[シホジスト] 奈良県国民健康保険直営診療施設運営協議会長（御杖村長）
伊藤 収宜 氏

南奈良総合医療センター総合診療科 明石 陽介 氏
一般社団法人てとわ（コミュニティナース） 山端 聡 氏

[コメンター] 三重県紀宝町立相野谷診療所長 森本 真之助 氏
和歌山県北山村国民健康保険診療所長 内川 宗大 氏

[司 会] 明日香村国保診療所（医療部会長） 医師 武田 以知郎

※ 参加希望：裏面の申込用紙へご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申込ください。

主 催 奈良県国民健康保険直営診療施設運営協議会医療部会

問合せ先 奈良県国民健康保険団体連合会国保事務支援センター 事務共同化推進課

電話：0744-29-8315 FAX：0744-29-8322 Email：chokushin@kokuhoren-nara.jp